

大森博幸

薫風に鯉のぼりがたなびく季節になってきましたが、今は世間全体に重苦しい空気が流れ、季節を感じる余裕も持てないような状況になってきました。

3/2からコロナウイルス感染防止のために臨時休校にして50日を超えました。

途中、4/8からの学校再開を決め準備した時期もありましたが、更なる感染拡大状況を踏まえ、4/3に、5/6までの休校を決定しました。しかし、それから以後も状況は好転せず今に至っています。

生徒諸君も、かなり精神的に疲弊しているのではないかと思います。「今はじっとしているしかありません。何ができるかしっかり考えよ。」と言われても、「この状況で一体何をすればいいんだ？」が本音ではないかと思います。

学校から郵送した課題や、担任、寮監の先生等からの電話だけではまだまだ不十分さは否めません。HPに載せたようにメールのやりとりも始めますが、学校での授業に勝るものにはならないのが実情です。もちろん、これから更に工夫を重ねていくつもりです。

こういう状況の中で嬉しいニュースもありました。高1のある男子生徒の善行です。岡山市北区のある町内会の代表の方から御礼の手紙が校長宛で届きました。その生徒は自らひとりで町内の遊園地の清掃を毎朝しているとのこと、町内会の方々がその行動に感動しているとのことでした。今の毎日はいつものは気がつかないことに気がつくこともあります。「誰かのために何かをしたいと思い、実際に何かをすること」で、周りを喜ばせ、自分自身も嬉しい気持ちになることは多々あります。自らの感染防止に努め、健康・安全を第一に考えたうえで、テレビやネットに依存することなく、体を動かし、心を活性化してほしいと思います。我慢の日々が将来生きてくると信じています。

この状況はいつまで続くかわかりません。正直なところ、5/7始業式、5/8入学式も危ういと思っています。全国に「緊急事態宣言」が出ている中での見切り発車はしません。ゴールが見えないマラソン、光が見えないトンネルの中のような日々ですが、くれぐれも体調管理は十分にして感染防止に努めてください。